

## 平成26年度 第1回 米子市図書館協議会・会議録（概要）

○日 時 平成26年6月4日 水曜日 午前10時30分から午後0時

○場 所 米子市立図書館 研修室（2階）

○出席者 委 員

渡邊 眞子、勝部 将之、倉光信一郎、根平 仁史、大江 忍、今出コズエ、鷺見 裕貴  
事務局

（米子市立図書館）木下館長、伊藤主査

（米子市教育委員会）永見生涯学習課長、幡井課長補佐、横木主幹

○欠席者 委 員

小林 千春

○傍聴者 無し

○報道関係 無し

### 【協議会の概要】

○開 会

事務局より開会

#### 渡邊会長

おはようございます。実は今年度図書館大会というものが、全国で第100回目を迎えまして、その記念の大会が東京で開催されます。その中のテーマに「全国の図書館協議会について」という形で、私も図書館協議会の一員としまして、鳥取県の実情とかをお知らせくださいということが上がっていますので、ぜひ今年度皆さんの忌憚のない意見交換会ができるいい図書館協議会になるといいなと思っていますのでご協力をお願いします。

#### 事務局

ありがとうございました。議事に入ります前に委員の交代についてご報告させていただきます。資料の一番最後に委員名簿を付けさせていただいていますのでご覧下さい。まず小学校の校長会からご参画いただいておりました藤原委員に代わりまして、この度から倉光委員にお越しいただいております。また、学識経験者としてご参画いただいておりました原委員が、一身上の都合により3月末で委員を辞職されましたのでここでご報告をさせていただきます。では、この度から委員にご就任いただきました倉光委員さん一言簡単にご挨拶をお願いします。

#### 倉光委員

倉光です。小学校長会ということで、今年小学校の方の図書館担当をしておりますので、この会に委員として加わらせていただきました。実は今年が最後の年ですので、1年間ということになります。大変失礼な参加の仕方かと思いますが、よろしくお願いします。

#### 事務局

これからの議事進行については渡邊会長をお願いします。

#### 渡邊会長

今日の議事録は取っていただけますでしょうか。お願いします。平成25年度事業概要報告及び決算について事務局の方よりお願いします。

## 木下館長

では、お手元の資料の1ページから4ページを使いまして、平成25年度の実施事業と決算について説明させていただきます。まず資料1ですが、25年度の実施事業等ということで上げさせていただきます。

12月に行いました協議会で途中までの報告をさせていただきましたが、引き続き3月末までのものをあげております。特にボランティアの方にご協力いただいておりますおはなし会は、毎回新しい方の参加があり、実施回数は引越し等で休館があり減っておりますが、参加人数は2倍以上に増えております。リニューアルと同時に充実させたビジネス支援事業につきましても、県内各機関との連携で相談会の種類が増えております。今後もPRに努めてまいりたいと思います。

次ページですが、中ほどに「展示」とありますが、階段を上がったところと反対の美術館側、多目的スペースの利用も増えております。ここに載せておりますのは図書館の主催・共催の展示のみですが、「鳥取大学美術部作品展」ですとか「詩と写真の展示」「イラスト・似顔絵展」、今も切り絵や折り紙の展示をしていただいておりますが、個人や団体での利用も8件ありました。今年度ますます利用は増えると思っております。

続きまして資料2をご覧ください。平成25年度図書館費決算明細書ということで上げさせていただきます。支出額の決算額ですが124,728,485円です。26年度は図書館費以外に労働費での支出がありました。これが文化財団への委託料になりますが、これが図書館費とは別に、決算額が21,334,144円でした。不要額の主な内訳ですが、大きなところは委託料と備品購入費です。委託料の方は入札による残、あるいは実績による残があり、逆に予算には上げていなかった電算の保守委託料などがありました。差し引き、3,067,140円の残となりました。また、備品購入費では、備品の見直しと入札により金額が下がり、残が4,258,069円でした。次に4ページ目ですが一般財団法人米子市文化財団への委託料の決算の明細をあげております。予算額と決算額と大きく違うところが1つ給料手当、福利厚生費のところ。これは、先ほど労働費での支出もあったという説明をいたしました。25年度は緊急雇用という国の補助事業で財団職員7名分の支出を別途しており、そのうち1名分については当初はこちらの委託料で支出する予定でしたが、緊急雇用の方に変更したために予算が不要となったことが大きな要因です。決算については簡単ですが以上です。

## 渡邊会長

質疑をお受けしたいと思います。いかがですか。2番目に移らせていただきます。26年度の事業計画及び予算についてお願いします。

## 木下館長

続きまして「平成26年度事業計画及び予算について」説明をさせていただきます。資料の3をご覧ください。平成26年度の図書館の事業計画を上げております。まず1番基本方針ですが、4つあげております。

- (1) 市民の知識及び教養の向上に寄与する。
- (2) 市民の最も身近な生涯学習の場である市立図書館の適切な施設管理と図書館業務の運営に努める。
- (3) 学校教育及び社会教育が一体となった教育活動を推進する。
- (4) 様々なイベントや講演会・セミナー等を通して情報発信に努め、図書館利用の新しい層を掘り起こすよう努める。

です。

次に重点施策です。順番に説明させていただきます。

(1) 利用者サービスの充実

リニューアルにより「くらしの中の法律情報棚」、米子市市民相談課と連携して行う「消費者問題コーナー」、医療情報・闘病記等を含む「健康情報棚」等を一層拡充しました。今年度も市役所各課あるいは他の施設・機関との連携を図り、専門性を高め、利用者ニーズに的確に対応できるよう努力していきたいと思っております。

(2) 生涯学習に役立つ蔵書の収集と資料提供

(3) 図書館ネットワークの強化

今年度は、今年1月から国会図書館のデジタル化資料送信サービスが始まりました。こちらの方の手続きを進めたいと思っております。また、鳥取大学医学図書館との共同事業、米子高専、鳥取大学との連携事業等を実施し、地域連携の拡大を図ってまいりたいと思っております。

(4) 学校図書館への資料支援と連携

学校図書館からの利用申込みや情報相談は定着しております。図書館は市内の小・中・養護学校の情報センター的役割を担っております。3月、4月には新しく整備された学校支援室で長期の貸出作業を行いました。専用の広い作業スペースで、車への積み下ろしも便利な場所にあるため、非常に作業効率が上がりました。また、今年度政策予算で「学校図書室支援図書拡充事業」として調べ学習用図書、長期貸出用図書の購入費がつかしました。よく利用されている調べ学習用図書を増やすことにより、学校からのリクエストに応えることができ、図書館に来館する子どもにも資料提供ができるようにしたいと思っております。

(5) ビジネス支援事業への取組み

増床に伴いビジネス支援コーナーを充実いたしました。関係機関との連携で7つの無料相談会も開催しております。今年度も県立図書館のご協力、連携も得ながら進めてまいりたいと思っております。

(6) 地域資料の収集と重要資料の保存

(7) レファレンスの充実

(8) 身体の不自由な人や高齢者へのサービス

朗読CD資料を増やすなど、視覚・聴覚障がい者へのサービス強化に努めてまいります。県立図書館のは一とふるサービスを積極的に活用し、また米子市にあるライトハウスさんのご協力も得ながら進めてまいりたいと思っております。

(9) 子どもの読書を支える取組み

児童図書室の拡充により、利用者が非常に増えております。子どもの各成長過程に合った本を選書し、配架や展示を工夫しサービスを展開していきたいと思っております。また、ブックスタート事業を引き続き支援をしてまいります。ボランティアの方や職員によるおはなし会の充実を図ってまいります。『こどもの読書週間』のイベントでは、4月に行いましたが、おはなし会や手作り絵本や「本はともだちノート」作りでにぎわいました。子ども読書に関するイベントや講座等を実施する予定もしております。

(10) ボランティアの育成

今年度おはなし会のボランティアさんが1団体増えております。

**伊藤主査**

ブックトークを中心にされてるグループから申し出がありまして、最初は定期的には難しいので、季節ごとに年4回くらいからスタートさせていただきたいという声がありまして、今年4月に最初にやっていたんですけど、ブックトークだけを行なうというおはなし会です。

渡邊会長

対象は？

伊藤主査

幅広い年齢が聞けるように組んでスタートしてもらっています。

渡邊会長

木曜日のおはなし会の中のどこかに入れるということではなくてですか。

伊藤主査

土日のおはなし会が行われていない状況でしたので、来館の多い、子どもさんの来館が多い土曜日に始めていただくということで、土日にやりたいというありがたいお申し出がありましたので、4月の第3土曜日に第1回目をやっていただきました。

木下館長

続きまして

(11) 文化活動の支援

これも昨年に引き続き市民主体の文化活動を支援していきたいと思います。

(12) 市民への広報事業の充実

この協議会の場合でも広報が大切だというお話がありましたが、昨年度はリニューアルに伴い新たな利用案内の作成をしました。今年度は子供用の利用案内を作成する予定にしております。また、ますますニーズの高まっているホームページの内容の充実に努めるとともに、その他の広報手段も積極的に活用し、市民への情報提供に努めてまいりたいと思います。取材とかも多くありまして、中海テレビなどでも何度も取り上げていただくこともありましたので、そういったところへの情報提供もしていきたいと思います。

(13) 多目的スペースの利用促進

新しい図書館の2階に整備された「多目的スペース」は個人や団体の作品等の発表の場として多くの利用申込があります。また、図書館も講演会にあわせた関連展示などで使っております。利用促進に努め、新たな図書館の利用者の拡大にも繋げたいと思っております。

3番目に主要事業等の内容をあげております。1つ1つは説明をいたしません、この中で実施時期が未定となっているもので、今現在決定しているものがありますのでご紹介をします。8ページ目ですが・「子ども読書推進事業」で「絵本作家 野坂勇作さんの講演会とワークショップ」を9月28日(日)に

・夏休みこども体験ツアーを7月24日に開催をします。

現在鳥取医学図書館相互協力事業も日程を調整しているところです。これ以外にも主催・共催事業のお話をいただいて進めております。また、図書館まつりも24年度、25年度と開催しておりませんが、今年度は開催を予定しております。

4番目に特別資料整理ですが、10月13日から22日までの10日間を予定しており、全館資料の蔵書点検を行います。

続きまして資料4の平成26年度図書館費の予算明細書をご覧ください。最初に1番下の合計額のところを見ていただけますでしょうか。平成26年度の当初予算額は119,129,000円です。昨年度は図書館

費として予算がついておりましたのは 135,356,000 円で、その他、緊急雇用の関係で、労働費で 19,570,000 円がついておりました。

予算の減の主な要因は、図書館のリニューアルに関して計上されていた予算が落ちたということがありますが、具体的にあげますと館内のテーブルや椅子等の備品購入費が「ゼロ」になっておりますのと、オープンに合わせ 25 年度は図書資料費が 30,000,000 円でしたが、今年度は 24,180,000 円となっております。このうち「学校図書室支援図書拡充事業」としては 2,180,000 円の予算がついております。増額となっているものにつきましては、まず、需用費ですが光熱水費の方が 25 年度はこちらの図書館が約 9 ヶ月新館でしたが、今年度は丸々 1 年ですので上がっております。消耗品費はトイレットペーパーや複写機利用料の増などありまして全体で 1,000,000 円程度増となっております。一般財団法人米子市文化財団への委託料が 21,163,000 円増となっております。25 年度は財団への委託料の一部が労働費から支出されていますので、実質の増は 1,593,000 円です。この増額の要因は消費税の増と職員数が 1 名増えたところによるものです。

資料 5 は図書資料費の推移を載せております。先ほども言いましたが、26 年度は図書購入費としては 24,180,000 円で、昨年度のオープン用の資料費 30,000,000 円より低い数字となっております。ここには 23 年度からの数字しか載せていませんが、18 年度から 21 年度までは 20,000,000 円を大きく下回っていた時期もありましたが、22、23 年度は当初予算 20,000,000 円でした。それに比べると今年度は 2 割ほど増えたこととなります。新聞・雑誌用の消耗品費も雑誌スポンサーを始めておりまして、その収入分が増額となっております。雑誌スポンサーにつきましては、今年度も PR に努め、財源確保をしていきたいと思っております。

以上簡単ですが説明を終わります。

#### 渡邊会長

今説明いただきましたことにつきまして何かご意見ありますでしょうか。

#### 鷺見委員

文化活動の支援で、これは私の方の要望なんですけど、去年の 11 月の協議会のときにビブリオバトルを図書館の方でもやったらどうですか、ということをお願いしました。そうしたら 2 月に図書館でもやりますということがありまして参加しました。7 名が各本を宣伝して投票し合うということだったんですが、2 月で風邪が流行っているとか、学生さんの試験かなんかで人数が少なかったんです。本を宣伝しますので、観客の人がその本を読みたいということで米子図書館で検索したりというのがあるので、その本を新刊のコーナーで見てもらったり、図書館のスタッフも入って質問してもらったりしたらいいのではないかと。

ビブリオバトルというのは各自が好きな本をやればいけど、絵本なら絵本だけを宣伝してもいい。郷土の小説家とか漫画家とかそういう本をやってもいい。そういうのも面白いと思います。

#### 渡邊会長

図書館まつりなどでもいいんじゃないでしょうか。

#### 根平委員

団体貸出については、保育所とか幼稚園とかは対象としておられないでしょうか。児童文化センターに今は団体の登録申請をして、大型絵本を借りたり、特に幼児期の子どもの本を 1 ヶ月借りてそれを活用しています。親子読書の読み聞かせを大事にしているので、自分のところの図書だけでなく他のものも利用できたらいいなと思っています。

**伊藤主査**

個人貸出とは別に団体貸出というのもありまして、お話をされているグループでありますとか保育園で活動されている方ですとかいろんな団体が登録をさせていただいておりますので、団体ですと1ヶ月、冊数も50冊を単位に貸出をしております。

**根平委員**

それは園単位で団体登録を申請すれば貸していただけるということですか。

**伊藤主査**

そうですね。団体として登録をさせていただくということですので、申し出があれば可能です。

**根平委員**

私は米子幼稚園ですので、米子幼稚園としてすればある期間貸していただけるということですね。

**渡邊会長**

私も小・中・養護学校だけでなく幼稚園・保育園から必要でないかと思っています。ただし、それを持って行かれるということは大変な人数や時間がかかりますよね。幼稚園・保育園にも本を届けるということは、取りに行けば大丈夫ということはわかっているけど、実際現場にいらっしゃる保育園の先生方は人数がいっぱいなので、図書館まで取りに行く手間がないということを伺っているんですね。配送してもらうことは不可能なんですかね。

**木下館長**

やはりこちらに限られた人数ということがありますので、本を届ける、回収するということは今の体制では無理な部分がありますので、さっき説明しましたように登録をさせていただいて、1ヶ月貸出ですので、取りに来ていただければ貸出はできますので。

**渡邊会長**

ボランティアに行くとき先生方がそういうシステムが整う日があるとありがたいなとよく聞く。一番大切なのが小さな保育園・幼稚園からだと思うんですね。中学校は大丈夫かという中学生こそ本を読まなくなる時期なので届けてはいただきたいですけど、先生は取りに来てやすいのではないかと思います。幼稚園や保育園は大変なんだと現場の先生から伺うので、可能な方向にいくといいなと思います。図書費用も無いので本も少ない現状です。

**今出委員**

思いつきですが、運ぶくらいはボランティアでできる人がいると思います。例えば私でも、ずっと続けての仕事はできにくいけど、私みたいな人はいると思います。保育園の先生にはお世話になって、学校に来るときに子どもが読むことができている、子どもたちに朝読みをさせることができました。ボランティアでもいろんな種類のボランティアを集める方法もあると思います。

広報活動についてですが、これはすごく大事だと思います。本はとても大事で年齢を重ねるにつれてよけい思うことです。本を読む人と読まない人では差がある。豊かに生きられるかどうか。広報活動について、12番の利用案内の作成と配布の配布はどのように行なうのですか。

**木下館長**

今年度、子ども用の利用案内を作っていきますが、子どもの登録も多くなっていますので、来られた子どもさんや社会科見学で来られた子どもさんに配っていくことを中心に考えています。

**今出委員**

これまではしていなかったんですか。

**伊藤主査**

手作りのものを学校に配布したりということはありません。

#### 今出委員

図書館の人はいろんなことをしておられるけど伝わっていないんです。市民の力を得てリニューアルができていますよね。図書館の人がどれだけ楽しく仕事をしているかなど、広報はお金の問題はあるんですけど、市報は読むので、図書館は催し物だけ出ていますが、図書館に来てみたい、この本を読みたいというような記事を作るとかおもしろいと思います。挟み込みでもいいので積極的に。年を取るとなかなか図書館に出て来れないので広報活動は重要だと思います。

#### 渡邊会長

広報はすごく大事で、図書館は無料で本を借りられるということを知らない市民がたくさんいます。有料で敷居が高いと思っているんです。図書カードを作るのに何がいうのもわからないんです。その年代の人は自分たちが小学校・中学校の時に図書館に鍵がかかっていた世代の人たちが多いいんです。学校図書館を利用したことがない世代の人たちが今子どもを育てています。だから子どもたちに図書館に行けと言えないんです。図書館が無料だということも知らないし。図書館に行ってくださいといっても、例えば、月曜日が休館だと理容業界の人は月曜日が休みなので行ったことがないと言われたんですよ。その人たちの子どもも図書館に連れて行ったことがない、預けている保育園には本がほとんどない。本屋さんで買うには最近高くなっている。そういうことを聞く中で、市報を何ヶ月前から予約して、1面図書館は無料でどなたでも利用できます、どんなサービスでも受けられるところです、貸出カードは簡単に作れますということを伝えてあげないと。来ている人に広報のチラシを渡しても意味が無いので、来ていない人たちにいかに図書館がすばらしくリニューアルしたかということを知らせる工夫をしていかないといけないと思います。

#### 今出委員

結局予算が問題だと思います。今、結構たくさんの人に来ていただいて、以前の1.5倍ですが、もっと何かを加えていかないと1.5倍が下がっていくと思います。いろんな知恵を出して施策を考えておられますけど、元になる本や資料がないと引き付けることはできない。リニューアルにお金を使ったから少ないと我慢するのではなくて、リニューアルしたからお金下さいというのが必要だと思います。予算案が出ますがいつ決定するんですか？

#### 木下館長

これはもう今年度の予算はついたものです。

#### 今出委員

ついたもの？ これを変えらるということになるとどの時期で伝えておけば？ 来年度予算になります27年度の予算を下げないために心しておかないと、あの時にリニューアルしたんだから、お金を使ったんだからと言われますよ。その証拠になるようなもの、リニューアルしてもらってこんなに皆さんに喜んでいただいているので引き続き落とさないようにしてください、上げてくださいという強い姿勢を。大変ですけど、米子市の文化を支えるものだと思います。

#### 勝部委員

図書購入費を見ると去年よりは落ちているけど、それまでよりはいいという数字にはなっているんですけど、今年度の数字がずっと維持されるものなのか、年々下がってくる傾向にあるのか。市の財政がどうこうという問題もある。この中にはふるさと納税の方からの入ったお金もありますよね。これはもう入っていますか。

#### 木下館長

それは財源として使われるということですので、別にふるさと納税のお金を使って買うということではないです。先ほどありましたが、25年度については図書資料費の予算が30,000,000円で決算はそれより少し高いというのは、非常に利用が多くて棚の方も少なくなったということがありましたので、一部備品購入費の余った部分を協議した上で回したということです。

#### 勝部委員

次の資料と絡んでくる言い方をしますが、図書館は順調に予想以上に利用されていますよね。順調なときに手を入れておくというのが一番大事なことじゃないかと。落ち目になってから慌てて手を入れてもお客は逃げてしまう。一日の利用者が1,000人前後ということですが、新しく登録される人が増えつつあるのか、今まで登録されているような人が中心で毎日が動いてきているのか、そのところが資料では読み取れませんでした。弓浜部とか南部とか、月に1回社会福祉協議会のバスを出して「図書館に本を読みに行こう」みたいなバスを図書館に向けて出す。月に1回でもそんなことができると話題提供にもなるし、遠いところからもバスが出るなら行ってみようかみたいな方もあるのかなと。トイレなんかも障がいのある方に対してとてもいいトイレができています。安心して来れる状態が作ってありますので。

#### 木下館長

最近ですけど、加茂公民館さんが施設を回るということで、30人ちょっとの団体で来られました。そういうツアーを地区の方でも計画していただけるならありがたいです。それもバスで来られたんですけど、展示の部分や図書館の中も見えていただいて、研修室でリニューアルについて話をさせていただいたことがありましたので、そういったこともしていただけるとありがたいですでお知らせしていきたいと思っています。

#### 渡邊会長

資料3のところの3番のところにあります図書館ネットワークの強化のところ、「国会図書館のデジタル化資料送信の手続きを進め」というのは関西の国会図書館ですか？東京の国会図書館ですか？

#### 伊藤主査

東京です。

#### 渡邊会長

この間、国立国会図書館関西館を見学に行きまして、デジタル化の資料を収集するために関西館を建てたということで、各都道府県含めて利用者数を増やしたいのということだったので関西館だと思ったのですが、東京の方が借りる窓口なんですか。

#### 伊藤主査

そうです。

#### 渡邊会長

3番のところ、米子高専とか鳥大との連携事業等実施するということで、今までこの協議会には高専の先生が1名必ずおられたと思うんです。原先生が辞められるということで枠としては残っていて、原先生からこういう連携もありますから、高専の方から次の人に引き継ぎますということはなかったんでしょうか。図書館の様子とか連携が良くわかったので。

#### 木下館長

原先生は高専として出ていただいたということではないですので、後任の方は必ず高専の方から推薦をいただくというわけではありません。

#### 渡邊会長

1名減ってしまったわけですよ。このままですか。



木下館長

新たな方は考えたいと思います。

渡邊会長

検討の余地はあるということですね。

永見次長

委員の選任については、原先生が3月末に辞められまして、本来であればその後引き続き適任の方をと思ったのですが、なかなか時期がなかったもので空席ですけど、高等教育機関の方にいていただいた方がいいというのであれば委員の方のご意見も踏まえながらぜひ次回までには後任の方の選任について当たってみたいと思います。

渡邊会長

委員の方から図書館に詳しくきちんとした意見を持っていらっしゃる方がいるというような声を届けていいのでしょうか。

永見次長

館長が言いますようにどこかの団体から選任ということではなくて、学識経験者という位置づけでお願いしておりました。結果として高専の先生でしたので高等教育機関との関係の中でプラスになったかと思えますので、そういう視点も踏まえながら考えていきたいと思えます。

大江委員

広報活動が重要だというお話を聞きましたが、広報活動をするっていうボランティアですけど、市報に載せるに当たっては原稿を書くとかの活動が必要ですよ。鳥大医学部の図書館はボランティアでいろんな役割を分担しております。整理の係とか草取りをされる方とかいろんなボランティアを募集しているんですけど、図書館の方では司書の方はお忙しいから、そういうボランティアも必要なんじゃないのかと思うんですけど。

木下館長

ボランティアさんにつきましても、休館の時、工事の時はなかなかしていただける作業が限られていて、以前は本を返すボランティアだったり、外の美化清掃のボランティアをお願いしていましたが、新しい館になってからは、おはなし会のボランティアさんはずっとしていただいていますけど、それ以外は一般の募集はできていません。職員自体も入れ替わりもありまして、ボランティアさんを受け入れるということになると作業の説明などの要因もあり時期をいつ頃というのを検討しているところです。いずれは願う形にはなると思えます。

渡邊会長

ボランティア登録は難しいところがあり、全国回って聞いているんですけど、近くだと岡山の図書館は県立図書館を中心に登録制度が充実してまして、ボランティアになるためには市あるいは県が主催した講習会をきちんと受けないと成れないんですね。ただ時間があるから暇だから気持ちがあるからといって参加させてくださいと行くと、受けられる方も迷惑なので、きちんとした人を入れるために10回とかの講習期間を設けておられるんです。それが草取り、お花の交換、図書の整理、傷んだ図書を直す、配送などもすべて講習を受ける。その費用は県なり市がボランティア養成費用をつけている。岡山県立図書館は1000人以上のボランティアの方がいて、そして毎年100人位育てている。入って困る人というのはおかしい言い方ですが、図書館は専門の人が運営してくださっているので、ボランティアというのは難しいかなと思えます。いい形で今後登録制度ができるといいなと思えます。

その他にありますでしょうか。事業計画の中なのでいい形で反映するといいなと思います。図書資料というのが30,000,000円ついていただけで利用者が増えてそれを越えた金額が使われているので、今までの2割り増しになったとはいえ近隣の図書館に比べてまだまだ少ないので、限りある財源から20,000,000円捻出するのは大変だとわかりますが、これだけ図書館が利用されているということなので、予算の方は年々上げていっていただきたいし、ずっと維持して毎年上げていけるようみんなで声を上げていきたいと思っています。では次に移らせていただきます。図書館の利用状況についてお願いします。

#### 木下館長

では、続きまして「リニューアル後の図書館の利用状況」と参考資料の「蔵書統計」についてご報告いたします。

12月の協議会の際には11月までの利用状況をご報告いたしました。年度末の3月までの数字を追加したものをつけております。23年度比では貸出人員は1.5倍以上、貸出冊数でも1.4倍以上、来館者数は1日平均約1,000人程度となっております。

25年度の年間での個人貸出冊数は424,617冊になりました。3ヶ月の休館期間があったにもかかわらず、23年度の421,896冊を上回りました。中でもこれまでジャンル別には文学が1位で全体の30%を超えていましたが、初めて25年度に児童が1位となり30%を超えました。これは児童図書室が2倍以上の面積になり蔵書数も増え利用が伸びたと考えられます。

4月以降も図書館が日展の第2会場となったり、先日の伯耆文化研究会の記念講演も100名の参加があったり、また多目的スペースの利用も次々あるなどして多くの来館者で賑わっています。今年度も引き続き講演会や講座などを計画して更に利用者の増を目指していきたいと思っています。

次ページの参考資料の「蔵書統計」をご覧ください。25年度末で蔵書冊数は約26万冊で、24年度末からは約2万冊増えております。児童図書室の面積が増えたこともあり、例年は購入冊数の25%程度が児童書ですが、25年度は全体の35%程度児童書を購入いたしました。簡単ですが以上で説明を終わります。

#### 渡邊会長

ありがとうございます。皆さんの意見をお願いします。児童書が35%ということはとてもありがたいことで、1ページの資料1のところを見ていただいたらわかりますようにおはなし会を毎週木曜日のところですが参加人数がずば抜けて1,762名になっているんですね。1回のおはなし会がだいたい平均50名前後です。1番多かったときに80名超えて入りきらなかったんですね。冷房は効かないし、私達も汗だけで。みんなが楽しかった、図書館がきれいになった、本は無料で借りられる、と利用される方にはいいことだらけなんですよ。ここで待ってるのは本が足りないんですよ。学校とかに本が出て行きます。私達も自分たちが学校にボランティアで回っているんですけど、借りたい本が無いとか出払っているんです。棚がスカスカになっているところもあるので、35%はありがたいですけど、でもこれでどれだけ補えるんだろうというくらい貸出数が多いと思います。来館された親子連れが皆さん借りて帰られるので、あっという間に棚の本が無くなっていくというのが現状です。このいい時期に図書費は増やしていただきたい。

参考資料の12ページのところですけど、平成25年度が、視聴覚資料のところでも1番増えていますのがCDになっていますよね。これは何か傾向があるのでしょうか。

#### 伊藤主査

新しくなってCDコーナーも新設しました。出版自体も増えています。これまで集めていましたカセットテープが消耗品になっていますので、それに替わるものとしてCDを選びました。

#### 渡邊会長

そうですね、カセットからCDに替わっているんですね。ありがとうございます。

ではその他に移ります。何かありますでしょうか。

#### 鷺見委員

これはまたお願いなんですけど、今いろんなジャンル分けできちんと「文学」とか「伝記」とか「哲学」とかにしておられて、それはそれでいい本もあるんですけど、そういうジャンル分けではなくて、21世紀は段々生き苦しくなっていると思うんですよね。図書館の本の中で「21世紀に向けて」というジャンルのコーナーを設けて「政治」とか「哲学」とか「文学」の中から21世紀向けの本をセレクトしたコーナーがあると中学生でも高校生、20代の人でも面白そうだなと借りるんじゃないかと思います。街の本屋さんでも書店員さんが「私はこんな本を読んでいます」とか店主の趣味に合わせてセレクトしていますので、図書館も冒険したらどうでしょう。また、「星新一」さんとか「小松左京」さんとか段々読まなくなっているというのがありますので、こんな作家がいますということで面白そうな人の本を集めて展示されたらいいんじゃないでしょうか。

#### 木下館長

図書館の方も関連の展示はやっておりまして、今月はこんな本を集めた展示、例えば4月ですと引越し関係の本を集めてみたり、今は図書館に屋根貸して太陽光パネルが付きました。それが稼動するタイミングで玄関に発電量などを示すモニターを設置者の事業者さんが付けてくださいました。図書館からのお知らせも載せたりしているんですが、それに合わせて下の方に環境関係の自然エネルギーなどの本を集めてコーナーを作ったりというテーマ展示は毎月しております。

#### 鷺見委員

テーマ展示ですが、床から下の方は見にくいので無しにしてほしいです。老眼で見にくい。

#### 渡邊会長

その他のところで2点、ご報告とご相談なんですけど、米子市立図書館はリニューアルオープンしたんですけど、WiFiの設備が入っていないんですね。私を含めて周りの人たちが図書館にWiFiが入っていないということで、賛否両論かもしれないですけど、ビジネス支援をこれだけ充実させていっちゃる。企業の方たちはパソコンの時代です。図書館で調べものしながらパソコンに取り入れていく。インターネットコーナーがあり、WiFiがあれば簡単にいろんなことができる。この前図書館友の会の全国総会に行き、中ノ島図書館のビジネス支援のところではWiFiは当たり前で使ってもらってる姿を見て、これからのニーズとして必要じゃないかなと思っています。本を読むための図書館、本と資料じゃないかと思われる反面どんどんIT化している中でWiFiがあったらどんな便利かと思ってらっしゃると思います。費用的にも例えば中海だと工事費も無料ですし、毎月定額の料金は3,000円もかからないわけでそれが入ると使い方は様々だと思いますけど、いろんな図書館の様子を研究されて来年度でも実現するとありがたいなと思います。

もう1点ですけど、たまたま昨日町内会で配られて読んだんですけど、笠谷議員さんの「図書館の充実について」という項目のところに気になることが書いてありました。「市立図書館の運営について、現在のような一部直営一部業務委託のような中途半端な運営は見直し、職員にとって働きやすい職場環境を整備しなければならないと考えるがどのような見解か」ということで図書館に対しての意見を出しておられました。笠谷さんは市民が選んで市議会議員なられた。その方が図書館について発表しているというのはとても大切なことだと思う。ここにお集まりの方が米子市立図書館の運営が一部は直営、一部は業務委託ということを知られない方がほとんどだと思うんですね。市議会で取り上げられているからには諮問機関である図書館協議会の方が図書館の現状について、このような運営が将来的に見ていい

ことなのかということをお次の議案として取り上げていただきたい。リニューアルされ、議員さんまでがこういう形で図書館の現状がどうなのかということを出していらっしゃる。みなさんも読んでいらっしゃる方がほとんどだと思うのですが、私は昨日配っていただいて目を通してきたら図書館のことが書いてあり、ちょっと大事なことだと思うので次の議案に取り上げていただきたいです。これはお願いとご提案です。

#### 勝部委員

私も過去にも何度もそのことは語られてきたので、どうしようかと思ってメモしてきたのですが、今は一番華やかで順調に来ているのでいいですよ、館長の立場でもそれぞれが上手くいっているのですが、図書館のような職場とかもっと違った形の職場とかを歩いたときに順調なときはいいんですけど、何かつまづいたときにギクシャクする部分があって、サービスをしなければいけない職員がギクシャクした部分があったとしたら、利用する側が一番大事なので名実ともに年次計画でとか仕事のしやすい体制を整えて行くことが米子市の図書館については必要じゃないかなと思いがあつたんですね。指定管理に出されたりとかということもあるので、そこらあたりの調整をしながら人的体制を整えていったらいいんじゃないかと。

#### 倉光委員

いくつかの図書館に呼ばれて、講演のようなことをさせていただいたんですけど、印象に残っているのは伊万里市民図書館というのがありまして、あれは市民図書館で、市民がみんな意見を出し合つて作った図書館ということで、案内してもらつたときに、例えば利用者がこの辺で座りたいかなとか目線はどの辺かなとか、そうするとどこにどんなものを置けば見てもらえるかなとかいろんなアイデアで。館長も公募して市民からとか。市民を大事にして市民が作る図書館ということでできていました。こんなふうな米子市もなればいいかなと思つていました。一方では近くに武雄市立図書館がありまして、図書館には関係ないものが入つてきて、人はたくさん増えたけど果たしてそれが図書館なのかなと。市民は喜んでる人もいる。図書館関係者はすごく非難しているんだけどでも市民にとってはどうなのかな、ただ目的は何のかなというところで議論する。米子市は他のところを知つていて武雄市立図書館のようにしてくださいという意見が出るかもしれない。いろんな意見が出る中で大事なものは何かという原点に戻る。

#### 渡邊会長

市民の意見が反映される図書館が一番大事だと思います。そういう思いがあつて私たちは図書館友の会米子を立ち上げて、図書館をサイドから応援する、図書館の職員のみなさんと意見交換ができる友の会でありたいと立ち上げたので、ぜひまた。花を飾るだけでも楽しい図書館になるんじゃないかと、トイレに行つて一輪の野の花があるとホツとするとかという意見が友の会のみなさんから出ているんですね。これからまた動きたいんですけど、やつと今リニューアルしたところで、図書館職員のみなさんと交流したいと思つた。図書館側からすると利用者へこういうことを申し上げたいとか利用者の方がこういうことに気遣つてくださつたら動きやすいとかあると思うんです。そういう意見交換ができるような図書館と市民の間に立てるといいと思つています。その他にありませんでしょうか。図書館協議会をやつと開いていただけました。みなさんの意見が通りやすいと思つたので、また近々開催していただきましたら、先ほど何点か申し上げたことがありますのでよろしくお願ひします。

#### 倉光委員

ついこの前1年生の子どもが友達と会話して「私、市立図書館に行ったよ。こんな本を借りたよ。お父さんに連れて行つてもらつた。」うちの学校でそんな会話が聞けるなんて奇跡的なこととして、ど

うしたら本を読んでもくれるのかと思っていたら、市立図書館まで行ったということでこれはすごいなと。今お聞きしながら、本も増えてリニューアルして今がチャンスだと思いました。

#### 木下館長

学校見学の話をしたんですけど、その後また先生が子どもたちの感想を持ってきてくださったんですけど、今度はお父さんお母さんと言っていたという子が何人もいたと聞きましたので、そんな風に広がっていくといいと思っています。

#### 渡邊会長

生涯学習課の課長さん何かありませんでしょうか。

#### 永見次長

その他でおっしゃっていただいた、3月議会で話があったことが今回の市議会便りに載った件ですけど、みなさんのご意見の中にも出てきましたけど、今米子市の図書館が平成2年に県から移管を受けて今があるわけですけど、直営という形で運営はしておりますが、現実的にはソフト面については文化財団の方をお願いしながら運営していただいている。直営だけど一部運営委託という形式を取っております。この形態の中で市民サービスにも努めて、職員が働きやすい職場であって、労働環境であるということは考えております。その中で、一方で平成15年から始まった指定管理者制度というのがありまして、米子市の方でも美術館ですとか公会堂ですとか文化ホールですとか、文化施設を中心にして指定管理を適用しております、全国でも25%程度の公共施設が指定管理になっております。これまで図書館については指定管理を採用しておりませんでした。法律の問題ですとか本当に図書館サービスにつながるかという視点の中で、これまでの議論の中では見送ってきました。実際図書館で指定管理が適用されるのはあまり進んでいません。都市部を中心にして民間事業者が受けたりとかで、全体では全国で10%程度と他の施設に比べると採用率が非常に少ない現状でございます。これは図書館の本来あるべき姿ということを踏まえて、自治体の考え方で採用についてのお考えがあると思います。逆に一度指定管理にしたんだけど、直営に戻すといったこともあっております。米子市は今の運営形態でやっていますけど、今後市民サービスをより充実させる、あるいは職員にとっての図書館もそうなんですけど、一番は市民ですので、市民の利用者にとって図書館のサービスを充実するためにはどういうスタイルがいいのかということ、何が良いとか悪いとかということではなくて、指定管理もあります、直営もあります、米子市が今やってるやり方、これをもう一度検証をし直して、更なる充実につなげていきたいなということで研究をしたいと思っております、既に動いています。この過程についてはぜひこの協議会の中でみなさま方にも研究過程とか検討過程をお示ししながら、みなさまの立場立場でご意見をお聞かせいただければと考えておりますので、ぜひご意見の方よろしくお願いします。

#### 渡邊会長

そういうふうにオープンにしていいただければありがたく思います。長時間ありがとうございました。